http://www.jaaso.or.jp/

JAあそだより

令和４年１月

南小国町でほうれんそうなど栽培する佐藤文幸さん・芳江さん夫妻（撮影／木下翔太）

JA阿蘇正職員募集中!

■今号20ページ　主な内容

- 新年のご挨拶 JA阿蘇代表理事組合長 原山寅雄
- 地域の活性化は阿蘇の農畜産物PRと消費拡大!
- 生産各部会の生育・出荷・総会などの動き
- 広報「熊本農業の未来をみんなで考えよう」
- 「イラスト違い」正解者に抽選でプレゼント!etc.

今号も話題と情報を満載!!

JA阿蘇の
ホームページに
アクセスできます!

2022 新年

VOL.120

JA阿蘇農業協同組合

本所　〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387-5
TEL 0967-22-6111／FAX 0967-23-1088

令和4年（2022年）新年のご挨拶

『役職員一丸に』

阿蘇農業協同組合
代表理事組合長　**原山　寅雄**

新年、明けましておめでとうございます。

皆様には輝かしい新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。当組合の事業運営につきましては、日頃から格別なるご協力とご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス対応に努めた一年でした。現在は感染防止対策やワクチン接種が開始されたことが功を奏し、感染者数は減少傾向にありますが、未だ収束した訳ではなく早期収束を心から願うばかりです。

また平成28年の熊本地震から５年が経過し、阿蘇管内の農地や交通ルートが復旧したことでこれからの農業発展に繋がることを期待しています。

ただ農業情勢は、多くの課題が残っています。原油高による生産資材の高騰が続く状況に対して当ＪＡでは、予約購買に取り組みコスト削減を図っております。202１年産米の販売では全国的に価格が落ち込むなか全量直売に取り組み、特別栽培米を始めとして高い概算金をお支払いする事が出来ました。主食である米・稲作が農業の主軸として、それに見合う単価を創出することが農業所得の増大に直結していると考えています。阿蘇地域世界農業遺産のＰＲやＳＤＧs（持続可能な開発目標）への取り組みにも注力し、組合員の皆様と共に阿蘇地域に根付く農業や自然を守りながら、より一層の取り組みを進めて参ります。

現在、熊本県域ＪＡ構想の協議が始まり、これから核論に入っていきます。なぜこの協議が必要なのか、これはＪＡが地域に残る為の協議であり、地域の農業を守る為のものです。実現による効果・メリットを踏まえしっかりと協議を行っていきます。昨年から取り組んでおりますＪＡ営農・経済事業成長・効率化プログラムの実践を通じ、徐々に成果が出始めています。これからも組合員・地域の皆様と共に手を取り合いながら励んで参りたいと思います。

組合運営につきまして、2022年度から新たなＪＡ阿蘇総合３ヶ年計画を策定いたします。「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」、「地域の活性化」に継続して取り組み、持続的農業の展開と地域にしっかりと貢献すべく、『役職員一丸』となって期待に
応えられるＪＡを目指して参ります。

結びに、迎えた本年が皆様にとって明るく輝かしい年でありますことをご祈念申し上げ、年頭の挨拶といたします。

『阿蘇世界農業遺産フェア&阿蘇リバイバルキャンペーン』開催

地域の活性化実現は、先ず阿蘇農畜産物のPRと消費拡大
トートバッグ山盛り「阿蘇野菜セット」10分で完売！

オリジナルトートバッグに山盛りに詰め込んだ「阿蘇野菜セット」（限定100袋）は10分で完売！

ＪＡ阿蘇は、ＪＡグループ自己改革の柱の一つである「地域の活性化実現」のため、日々様々な取り組みを行っています。

２０２１年10月30日、阿蘇市一の宮町の直売所の四季彩「いちのみや」で、ＪＡ阿蘇と阿蘇地域世界農業遺産推進協議会とで主催する『阿蘇世界農業遺産フェア&阿蘇リバイバルキャンペーン』を開きました。

このイベントは、地域の方々や日頃お世話になっている組合員の皆さんに阿蘇地域世界農業遺産の認知度を更に深めてもらい、阿蘇農産物のＰＲと消費拡大を図り、農家所得の向上と農産物の付加価値の向上に繋げることを目的に行われました。

当日、会場では新型コロナウイルス感染防止対策に努め、来場者の入場規制をはじめ、検温と消毒を徹底し、長時間接触するような飲食ブースは設けず、持ち帰り可能な商品を中心にラインナップしました。

会場内には地元農産物販売やみかんの袋詰めコーナーが設けられ、阿蘇あか牛の焼肉も振る舞われ、来場者は約１５００人と賑わいをみせました。

特に盛況だったのは、オリジナルトートバッグに山盛りに詰め込んだ「阿蘇野菜セット」販売で、限定１００袋が10分で完売しました。

同イベントは昨年に続いて２度目の開催で、熊本地震から阿蘇における交通インフラが復旧したことで地域再生（リバイバル）を強くアピールすることができました。

原山寅雄組合長は「今回、規模を縮小しての開催となりましたが、地域の方々や組合員の皆さん方に多数ご来場を頂きうれしい限りです。これからも阿蘇の新鮮で安心・安全な農畜産物の魅力を知ってもらい、ぜひ手に取って、消費拡大に繋げて欲しい」と抱負を語っていました。

ＪＡ阿蘇はこれからも地域と一緒になって、農畜産業の活性化を図っていきます。

会場ではあか牛の焼き肉も振る舞われた

原山組合長トップセールスで JA阿蘇新米を沖縄へ販路拡大

原山寅雄組合長らは11月上旬、２０２１産新米の販売促進を図る目的で沖縄県の「コープおきなわ」を訪れ、コープおきなわの川越雄一郎理事長に販売促進用のＪＡ阿蘇産新米５００袋（１袋３００ｇ）の目録を贈りました。

令和３年のＪＡ阿蘇全体での新米集荷は約13万５０００俵で、昨年を１万俵上回る実績となりました。阿蘇地域の世界農業遺産認定を追い風にパッケージもリニューアルして、目標よりも多く集荷された新米の販路拡大を目指しています。

原山組合長は贈呈式で「生産農家が努力して一生懸命に作った新米です。阿蘇の雄大な自然の中で作られた本当に美味しい米を、より多くの消費者に知って欲しい」と力強くＰＲしました。

ＪＡ阿蘇では集荷した米の全量販売を目指しており、多くの消費者に届けられるように販売担当者らと意見交換も行い、熊本県内での販売定着と九州各県、沖縄での普及にも力を入れています。また、沖縄県地元の米販売店の視察なども行い、価格帯や品揃えの販売状況やパッケージなどを確認。今後の販売力の強化に繋げる計画です。

（写真上＝コープ沖縄の川越理事長に目録を贈呈する原山組合長／11月5日撮影）

JA阿蘇産米の販路拡大に 販売業者招き新米と産地をPR

ＪＡ阿蘇は11月17日、本所に米販売業者らを招いて、２０２１年に集荷された新米を広くＰＲしました。

今回の目的は鹿児島県での販売拡張を目指し、販売業者に生産地である阿蘇訪問の機会を設けることで、新米の販売促進を図る狙いです。併せて、世界農業遺産の認定を受けている「阿蘇ブランド」ネームバリューの周知と２０２１年産新米の出来栄えを直接伝える狙いもありました。

業者の方々には、阿蘇産米の食感や食味を知ってもらうため、炊き立ての新米を実際に食してもらいました。

また、ＪＡ阿蘇では生産者が精魂込めて栽培し収穫した新米の全量販売を目指しており、今回訪れた販売担当者らと積極的に意見交換も行いました。

ＪＡ阿蘇の伊藤照行農産課長は「生産者一人一人が丁寧に作った新米なので、これだけ良いものが出来たということを多くの消費者に知ってもらいたい。世界農業遺産にも認定されている阿蘇という産地の想いを、これからもしっかりと届けていきたい」と力強く抱負を語っていました。

ＪＡ阿蘇の稲作生産農家は約２５００名、稲作付面積は２０００ha、２０２１年産における出荷目標は全量販売を目指し、販売高20億円を見込んでいます。

新米を実食する販売業者の方々

TACパワーアップ大会2021 JA阿蘇「JA表彰」受賞

取り組みの具体的事例を発表する
JA阿蘇齊藤博満営農部次長

ＪＡ阿蘇は令和３年11月17日、横浜市で開催された地域農業の担い手の元に出向く「ＪＡ担当者（通称ＴＡＣ＝タック）パワーアップ全国２０２１」でＪＡ表彰を受賞しました。

ＴＡＣは新規就農者の支援として就農時に必要な栽培技術の習得や、地域に根差した営農を送るための人的ネットワークを確保。栽培圃場の確保や設備投資など不安要素を解決するために、ＪＡ阿蘇として農業師匠制度の活用を推進し、就農者支援を行っています。さらに、担い手の費用削減に伴う不安解消と農業法人のコスト低減支援などの取り組みを続けてきたことなどが、高く評価され、今回の受賞となりました。

※次ページに続く

※前ページより続く

受賞にあたり原山寅雄組合長は「TACの活動が高く評価されうれしく思う。職員には今後も担い手を巡回することで更に生産者とJAとの強固な架け橋になってもらいたい」と喜びを語っていました。

表彰後、齊藤博満営農部次長はJA阿蘇の取り組みについて発表を行い、具体例をあげながら全国のTAC担当者へ情報提供と共有を促しました。

写真左上＝TAC大会受賞関係者
写真上＝表彰状を受ける原山組合長

2021年総合展示会 目標を超え大盛況で終える

10月23日から11月6日にかけて「JA阿蘇総合展示会」が中部地区・南部地区・北部地区の3会場で開催されました。展示会には組合員や地域住民ら約2000名の来場があり、販売金額も4700万円（計画対比118%）を超える実績を収めることが出来ました。皆様の格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

会場内には、多くの家電商品や婦人服、紳士服など冬物の新作が多数展示され、寝具や健康器具等では実際に触れてみることで、来場者も器具の効果を実感していました。

南部会場では女性部出展の加工品や新鮮な野菜の販売は大反響を頂き、大勢のお客様が手に取っていました。来場者からは、「品揃えが多く、見ごたえのある展示会でした」との声を頂きました。

コロナ禍での開催ということで、会場入り口には非接触型サーマルカメラで検温とセンサー消毒により感染予防を徹底。定期的に換気を行い、来場者の安全確保が図られました。

山本栄二常務は「総合展示会ではJA取引業者の協力のもと、来場頂くお客様に満足できる商品を幅広く集めた。感染防止策を徹底した中で組合員との親睦を深め、地域に喜ばれる事業展開としての総合展示会が開催できたことを嬉しく思います」と、成功裏に終えた感想を述べていました。

写真はいずれも
「2021年総合展示会」会場の様子

生産各部会の生育・出荷・総会などの動き①

秋の味覚「栗」9月に終盤
例年の2倍近い高値で推移
＝西原栗部会＝

ＪＡ阿蘇西原集出荷場では、８月中旬から栗の選果が始まりました。９月の終盤に向けて品質が高く実の大きい栗が日々選果されています。

生産農家が40戸を超えるＪＡ阿蘇西原栗部会では、２０２１年産の栗出荷計画を25ｔとしていましたが、今年は豊作の年に当たり、昨年よりも早い出荷となりました。

品種はブランド栗として有名で人気も高い「利平栗」と普通栗です。出荷は１日に約３００kg、多い日は５００kgもの出荷が行われます。

市場や消費地の評価は年々高くなっており、例年の2倍近いキロ当たり１２００円の高値が付くなど生産者も驚くほどの市場価格で推移しました。

担当の齊藤光弘職員は「西原産の栗は品質と食味のどちらも高い評価をいただいており、年を追うごとに需要も増加している。本年産も選果最終日まで高品質な栗を提供していけるよう、生産者と協力しながら出荷を行っていく」と話していました。

同部会では、生産面では栗を手に取る消費者に安心・安全な商品を購入してもらえるように防除日誌を活用しており、販売面では単価アップを目標に消費地でＰＯＰやポスターの活用を積極的に展開するなど、販売促進活動にも力を入れています。

（写真上＝栗の選果作業／9月21日撮影）

消費地ニーズに合わせた販売形態
3年連続で販売額8億円を突破！
「阿蘇アスパラガス」

ＪＡ阿蘇一の宮選果場では10月中旬、アスパラガスの選果作業が終盤を迎えました。10月に入って例年になく高温で推移したこともあり、昨年同月の出荷量の2倍となりましたが、今後は朝晩の気温の低下で出荷量は減少していくと見込まれます。

一の宮地区のアスパラガスは9月末の販売実績で、出荷数量７５２万７６３４束（前年比１０６・８％）、販売金額８億５１４７万４０００円（同１０３・２％）、キロ単価１１３１円（同96・６％）となり、過去最高の販売金額を達成。３年連続で８億円を突破しました。

今年も昨年同様のコロナ禍とあって、販売面では試食宣伝会の計画なども立てられず、不安な状況下でのスタートとなりましたが、昨年（令和２年）末から出荷開始前まで各市場担当者と意見交換を行うことで、それぞれの消費地に合わせた販売形態づくりが出来ていたため、春芽では例年以上にスムーズな販売となりました。

夏芽では、昨年を上回る出荷量に対し、都市圏を中心とした各地でコロナ対策の緊急事態宣言が発令されたため、その影響を受けて単価面での苦戦を強いられました。

選果場担当の後藤真智職員は「コロナ禍では多くのことを学んだ。固定観念に基づく販売形態ではアフターコロナは乗り切れない」と話し、次年度以降の販売形態及び販路の見直しを検討しています。

一の宮選果場では、コロナウイルス感染予防対策として作業員の検温、うがい薬配置及び作業員休憩場所でのパーテーション設置などを実施。さらに生産者間相互の連絡手段となっている「ＬＩＮＥ」を活用し、注意喚起の文章配布をするなど定期的な情報送信を行いました。

アスパラ部会では、昨年に続き出荷経費削減及び春芽最盛期の選果作業負担軽減に取り組んだ一年であり、これからも出荷終了後に検証を行って、より効率的な販売力強化につなげたいとしています。

（写真左＝アスパラガスの選果をする作業員／10月14日撮影）

生産各部会の生育・出荷・総会などの動き②

花持ち良く冠婚葬祭に需要増
トルコギキョウ1月末まで出荷
＝中部地区管内＝

ＪＡ阿蘇中部地区管内では花持ちが良く、冠婚葬祭を中心に人気が高いトルコギキョウの出荷作業に追われています。

同管内は高冷地～中山間地域に位置しており、冷涼な気候を生かした夏秋トルコギキョウの栽培が盛んです。特に終盤を迎えた10月から11月にかけては、花が大きく発色も濃くなって高品質な出来映えになります。

トルコギキョウを22年間栽培している鳴川孝宏さんは、約40品種17万本を栽培面積65ａで生産しています。

鳴川さんは、花卉日持ち品質管理認証を毎年取得するなど品質管理に重点を置くことで、日持ちの良いトルコギキョウの産地ブランド維持に努めています。鳴川さんは（10月末取材時）「長雨で生産環境が厳しく品質が心配だったが、無事収穫が出来て一安心。今後は阿蘇山噴火で火山灰などの影響がないことを祈りたい」と栽培にかける思いを話していました。

出荷先の九州管内や関東市場では高い評価を得ており、出荷量は1日３０００本程度。令和４年1月末まで続く見込みです。

色鮮やかなトルコギキョウの選別作業や圃場の様子

受章、おめでとうございます

令和3年秋の叙勲

ＪＡ阿蘇元組合長 丸山信義氏 旭日単光章を受章

政府が令和３年11月３日付で発表した秋の叙勲で、元組合長の丸山信義氏が「旭日単光章」を受章しました。

同氏は受章のよろこびを次のように語りました。

「素直にうれしい。ＪＡ阿蘇の組合員全員で受章した気持ちだ。在職中はＪＡの合併に尽力した。当初、組合員から反対もあったが、座談会などでじっくり話し合い理解してもらった。ＪＡは今後も農作業受託事業など、地域を守る役割を果たしてほしい」

生産各部会の生育・出荷・総会などの動き③

秋冬ダイコン12月下旬まで出荷
連日30tを福岡・長崎・熊本へ
＝小国郷大根部会＝

九州有数のダイコン産地であるJA阿蘇小国郷管内で、秋冬ダイコンの出荷が最盛期（11月中旬取材時）を迎えました。連日30tの出荷があり、主に福岡・長崎・熊本方面へ送り出されています。

２０２１年度産は８月の長雨で作付けの遅れや、作付けが出来ないなどの心配があったものの、その後は天候が回復。８割近くが秀品でL・２L階級中心の順調な出荷が行われています。

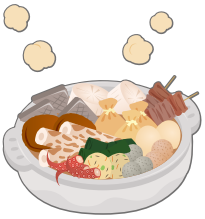
小国郷大根部会の宮崎徳雄さんは「今年は８月の長雨後、極端に雨が少なく過酷だった。例年ならダイコンが『出来た』という表現に対し、今年は水やりなどをしっかり行うことで『作った』という表現だ」と振り返っています。

今年のダイコンは生育が均一にならず、宮崎さんは「食べるのは根の部分だが、まずは葉を大きく」と葉面散布を行い、より元気で丈夫な葉が育つよう工夫しました。また、夏場の病害虫に悩まされたため、秋口は特に気を付けて栽培を行ったとのことです。

「今の時期のダイコンはとても味がよく、寒暖差の影響で糖度が８度と甘みが増している。サラダでもおいしいので多くの方に食べていただきたい」と笑顔で話していました。

同部会の主な品種は「秋の翼」で、出荷は12月下旬まで続きます。

（写真＝ダイコンの出荷作業や選別を行う宮崎徳雄さん）



生しいたけ出荷最盛期
高品質の秀品L･Mサイズ中心
＝小国郷生しいたけ部会＝

11月上旬、JA阿蘇小国郷営農センター管内では、原木生しいたけの出荷に追われています。

例年、10月頃から本格的な出荷が始まりますが、２０２１年度産は小国郷管内で９月以降に雨がほとんど降らず、発生が大幅に遅れていました。

10月に入って適度の雨があったため露地、ハウス共に出荷量が増え、11月上旬には日量４０００パック（1パック１００g）となりました。

品質も良く、秀品のL・Mサイズ中心の出荷となっています。

高冷地の小国郷は、11月に入って最低気温が10度以下の日も多くなってきています。そのため、原木生しいたけは低温下でじっくり育つことになり、肉厚で大きいという特長を備えたしいたけが収穫できます。

JA阿蘇小国郷生しいたけ部会長の松野英一さんは「今年は雨が少なく栽培管理が難しかったが、今は良いしいたけが出ているので、たくさんの方に食べていただきたい」と抱負を語っています。

指導担当の木下翔太職員は「これから寒くなって太りが鈍くなってくると思うので、被覆などを行って少しでも収量増加を目指してもらいたい」とアドバイスしていました。

同部会でのこの時期の主な品種は「にく丸」「ゆうじろう」「金太郎」となっています。

生育の確認を行う担当の木下職員

生産各部会の生育・出荷・総会などの動き④

令和3年産いちご始動
部会一丸となり更なる飛躍めざす
＝JA阿蘇いちご部会＝

出荷査定会で挨拶をする大津裕樹部会長

ＪＡ阿蘇いちご部会は11月7日、阿蘇市で生産者・行政・ＪＡ関係者など約60人が出席して、令和3年産出荷査定会を開きました。そして目標販売額6億3500万円を掲げました。

査定会冒頭の挨拶で大津裕樹部会長は「生産情勢が厳しい中ではあるが、生産者が一丸となってＪＡ阿蘇いちごの飛躍に繋がるよう更に頑張ろう」と力強く述べました。本年産の出荷は10月中旬より始まっており、前年度に比べ半月程度早い状況となっています。これは9月上旬からの日照が多かったことが影響し、出来は大玉傾向で推移し、等級・食味共に品質良好となっています。販売への取り組みとして、消費動向の多い小売店や量販店を中心にいちご部会独自のアイテムによる販促と需要に見合った販売を狙うことで、生産者の所得増を目指す方針です。

現在、部会員数は42戸（前年比97・7％）、面積11・01ha（同97・6％）、品種作付割合は、さがほのか（21％）・ゆうべに（19％）・恋みのり（60％）となっています。

「JA阿蘇花卉生産協議会総会」生産意欲高め産地化を図ろう！
日本花普及センター会長賞の宇藤康博さんに熊本県より表彰状

ＪＡ阿蘇花卉生産協議会は11月19日、阿蘇市内で熊本県・経済連・ＪＡ関係者ら約25人が出席し、延期していた令和2年度第2回総会を開きました。

総会に先立ち表彰式が行われ「第30回花の国づくり共励会花卉技術・経営コンクール花卉技術経営部門」で、一般財団法人日本花普及センター会長賞を受賞した高森地区の宇藤康博さんに熊本県より表彰状が授与されました。

同年度の管内花卉実績は、数量で約402万本（前年比90％）、金額で約3億5900万円（同100％）となり、新型コロナウイルスの影響等で切花需要の厳しい年でしたが、上々の結果となりました。

同協議会の白石豊和会長は「切花需要が迷走する中、各関係機関の支援や力添えにより無事にシーズンを終える事が出来た。今後も会員の生産意欲が高まる産地化に向けた活動を行い、目標達成を目指そう」と挨拶しました。

今後の協議会活動方針として、ＪＡ阿蘇管内の品目別生産者間の情報交換会や、資材統一等に向けた取り組みを推し進める計画です。

（写真右上＝総会の様子／写真左上＝表彰を受けた宇藤康博さんを囲む協議会メンバーら関係者のみなさん）

保育園児らが中部営農センター職員へ感謝伝える細工物を贈る

阿蘇市山田保育園の園児ら10名が11月25日、勤労感謝の日にちなみ日頃の感謝の想いを伝えようとＪＡ阿蘇中部営農センターを訪れ、職員に手作りのかずら細工を贈りました。

園児らは緊張した表情で職員へ手渡し「いつもお仕事してくれてありがとうございます」と全員で挨拶しました。

細工物を受け取った阿部泰隆センター長は「お仕事頑張りますので、皆さんも風邪などに気をつけて過ごしましょう」と感激した様子でお礼の言葉を述べました。心を込めて作られたかずら細工はセンター内に飾られ、訪れる組合員や地域の方を和ませています。

写真＝贈られた「かずら細工」と園児から「かずら細工」を受けとる職員

「JA阿蘇きらり★」

情報ネット検索にハマっています！

金融部貯金融資課融資専任渉外係
（阿蘇町駐在）

かわさき　しんいちろう
川﨑 慎一郎（36）

★趣味＝便利な物やお得な情報をネットで検索したり、お店で探したりすることです。今まで知らなかったことを発見することが楽しみです。

★一言コメント＝融資業務を担当して7年目になります。思い通りにいかないこともありますが、手続きの最後に「ありがとう」と言ってもらえた時は、この業務を担当していて良かったと思います。

ほうれんそうとアスパラガスを栽培
表紙の生産者「佐藤文幸さん・芳江さん夫妻」
体が動く限り、夫婦で頑張りたい！

佐藤さん夫妻は小国郷営農センター管内（南小国町満願寺地区）で、ほうれんそう(20a)とアスパラガス(20a)を育てています。ほうれんそうを栽培して約27年というベテラン農家です。現在、ほうれんそう20aを栽培していますが良い条件の土地があれば、あと1a程増やして、もう少しほうれんそう栽培を頑張りたいとの事です。

文幸さんはJA阿蘇小国郷ほうれんそう部会の会長も務めています。

ほうれんそうは周年でハウスで栽培し、春先からはアスパラガスの出荷も行っています。ほうれんそう栽培を始めたきっかけは、周辺地区ではほうれんそうの生産農家が多く、文幸さんは「ほうれんそうなら自分の圃場に適している」と思い、栽培始めました。

天気の悪い日が続くと営農面での収入減となるため、副業として山仕事も行っています。近年、地球温暖化の影響で、昔は涼しかった南小国でも気温が上昇して、だんだんほうれんそうが作りにくくなってきています。また、高齢化の進展で数量や生産者が減ってきています。文幸さんは「若い人達に興味を持ってもらえるような営農にしていくためには、農協や役場と一体になって、考えながら栽培を頑張って行きたいと思います。これからも体が動く限り、夫婦でほうれんそう栽培を頑張っていくのでよろしくお願いします」と、取材の最後に結びました。

写真＝圃場で作業をする文幸さん（上）と出荷作業をする芳江さん（右）

JA阿蘇 イラスト違い探し「かるた取り」

左右2つのイラストには、違っているところが5か所あります。探してみてください！

（出題：イラストレーター みやた みゆき）

イラスト違い探し「かるた取り」応募方法

「かるた取り」イラスト５か所の違いを、官製ハガキに書いて応募してください。正解者の中から抽選で５名様に「サイコロステーキ」をプレゼントします。（右写真はイメージ）

応募締め切りは、令和４年１月15日（当日消印有効）です。

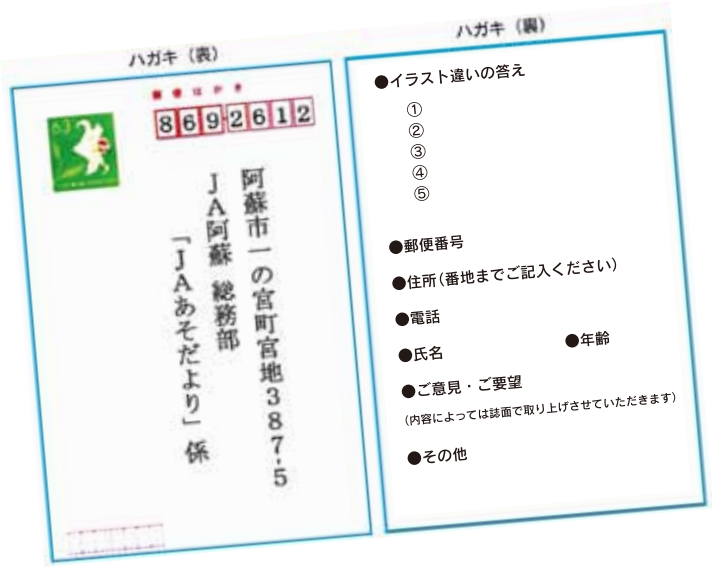
当選者は次号のＪＡあそだよりで発表します。

前号「お月見」答えとプレゼント当選者６名様

甲斐イチヨ　様（一の宮町）
佐藤今朝美　様（阿蘇市）
徳永　楠子　様（南阿蘇村）
明里美佐子　様（小国町）
工藤　彩華　様（高森町）
興梠みえ子　様（山都町）

＝答え＝

① 左上のモミジ
② 女性（お母さん）の前髪
③ お団子の数
④ 右上の雲
⑤ 湯のみ



不祥事未然防止強化の「コンプライアンス研修会」実施

ＪＡ阿蘇は11月11日、一の宮中央支所で不祥事未然防止と日々のコンプライアンス周知を強化するための研修会を開きました。ＪＡ熊本中央会より瀬井秀樹部長を講師に招き、管理職約70名が管理者としての部下の行動や業務に関するマネジメントの大切さなど、職員育成と職場環境づくりについて学びました。

講師の瀬井部長は「今一度コンプライアンスについての周知と意識が大切である。先ず日頃の管理体制について、不祥事を起こす意識と機会をなくす事が重要で、日頃の事務手続きの遵守と管理者業務と管理知識の向上が必要不可欠である。職員教育の観点から部下に対して『いってらっしゃい』『おかえり』など、 何気ない声掛けやコミュニケーションを図ることで、相談しやすい雰囲気づくりを意識した環境整備を行う。その中で職員に関心を払いながら、些細な変化に気付き、適切に対処する能力を発揮するなど管理者としての心得と責任を身につけることが大切だ」と語りました。

山本栄二常務は「今回の研修会を通じ、不祥事を起こさせない意識と未然防止する体制と環境づくりに、更に取り組んでいきたい」と決意を述べていました。

（写真＝コンプライアンス研修会の様子）

●●● JA阿蘇職員異動のお知らせ ●●●

●辞令（令和3年10月1日）

氏名	新辞令	旧辞令
堀川　美紀	営農部中部営農センター園芸課販売係（中部地区野菜集選果場担当）	営農部中部営農センター園芸課（阿蘇町選果場）
江藤　秀晃	営農部中部営農センター園芸課指導係	営農部園芸課指導係
黒田　将司	営農部小国郷営農センター直販事業課事業係（ヨーグルト工場）	営農部小国郷営農センター直販事業課事業係（牛乳工場）
宮﨑　大智	営農部中部営農センター園芸課指導販売係（中部地区野菜集選果場駐在）	営農部中部営農センター園芸課指導係

●辞令（令和3年11月1日）

後藤　　大	阿蘇南中央支所金融課金融係	金融部貯金融資課融資係ＪＡバンク熊本ローンセンター駐在

ビニールなどが飛来して停電事故を起こします！

農業用ビニール等は、強風で飛ばされないようにしてありますか？

※作業時だけでなく、設置後も注意が必要です。

「このくらい離れていれば飛んでも送電線には引っ掛からないだろう！」といった思い込みは禁物です。

万一、送電線へ農事用ビニール・防雀テープ等が引っ掛かってしまった場合は、触らずに九電ハイテックへご連絡お願いします。

九州電力送配電
熊本支社

＜連絡先＞
㈱九電ハイテック 熊本支社 送電グループ
TEL　096-386-2259
熊本市中央区上水前寺一丁目6番36号

理事会・監事会報告

■令和3年度第9回理事会

日時　令和3年10月29日午後1時30分
場所　一の宮中央支所会議室
1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項
　委員会報告（金融共済専門委員会）
　令和3年度上期決算実績報告について
　1）貸出金について
報告事項
　1）令和3年度理事会附議案件の実行完了について
　2）内部監査実施状況報告書（令和3年7月～9月）について
　3）CCS定期確認該当件数について（三次認定）
　4）マネロン・反社等への対応状況について（四半期報告）
　5）事務ミス等の発生状況について（半期報告）
　6）ATM利用状況について（9月末）
　7）県域ローンセンター媒介業務実績について（四半期報告）
　8）相談・苦情対応状況について（半期報告）
　9）余裕金運用状況について（9月末）
　10）余裕金運用計画（下期）について
　11）令和3年度農政連会費及び国際貿易協定対策募金について
　12）自主検査結果報告について（8月）
　13）JA阿蘇コンプライアンス・プログラムの進捗状況（令和3年9月末）について
　14）不祥事未然防止の為の行動計画（令和3年9月末）進捗状況について
　15）JA阿蘇活動総合3ヶ年計画（令和3年9月末）進捗状況について
　16）令和3年産米予約・集荷対比表について
4. 閉会

■令和3年度第10回理事会

日時　令和3年11月29日午後1時30分
場所　一の宮中央支所会議室
1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項
　委員会報告（総務専門委員会）
　10月末実績報告について
　1）貸出金について
　2）「熊本県域JA構想」に係る「重点取り組み事項」進捗状況表について
　3）2021年度「生活応援キャンペーン（マイカー・教育ローン）」実施に伴うキャンペーン金利の取扱いについて（案）
　4）職員年末賞与支給について
　5）JA阿蘇職員募集について（三次募集）
報告事項
　1）有価証券購入報告について
　2）令和3年度JA共済コンプライアンス点検結果について　↗
　3）自主検査結果報告について（9月）
　4）令和3年度上期クロスチェック結果報告について
　5）2021JA阿蘇総合展示会実績及びアグリイノベーションフェアー実績について
　6）令和3年産米予約・集荷対比表について（10月末）
　7）「県域JA構想」に係る取り組み状況について
　8）JA自己改革を巡る情勢と今後の取り組みについて
　9）JA阿蘇「営農経済事業プロジェクト」実績状況報告について（上期）
4. 閉会

●令和3年度第7回監事会

日時　令和3年10月25日（金）午後1時30分
場所　本所2階第一会議室
1. 開会
2. 挨拶
3. 議題
　1）令和3年度上期決算棚卸監事監査とりまとめ事項について
　2）令和3年度上期決算監事監査事務手続きについて
報告事項
　①常勤監事業務及び会議等報告について
　②内部監査実施状況報告について（7月～9月）
　③行事予定について
　④その他
4. 閉会

●令和3年度第8回監事会

日時　令和3年11月22日午前10時00分
場所　本所2階第一会議室
1. 開会
2. 挨拶
3. 議題
　1）令和3年度上期決算監事監査取りまとめについて
　2）その他
4. 閉会

●令和3年度第9回監事会

日時　令和3年11月29日午前10時30分
場所　本所2階第一会議室
1. 開会
2. 挨拶
3. 議題
　1）令和3年度上期決算監事監査報告書（案）について
　2）令和3年度導入家畜等棚卸監査実施要領（案）について
報告事項
　①常勤監事業務報告及び会議等報告について
　②行事予定について
　③その他
4. 閉会

令和４年度　高卒(新規学校卒業)ＪＡ阿蘇職員三次募集要領

１．採用職種及び採用予定者数　一般事務職……10名程度　農業関係技術職……５名程度

２．受験資格　令和４年３月（来春）までに卒業見込みの者。

３．受験手続　①提出書類　統一応募書類（全国高等学校統一用紙　その１、その２）

②募集締切日……令和３年12月24日（金）必着

③応募書類提出及び問い合わせ先

【住　所】〒869-2612　熊本県阿蘇市一の宮町宮地３８７番地５

【連絡先】阿蘇農業協同組合 総務部総務人事課（電話）０９６７－２２－６１１１

【担　当】下田・西村

④応募方法　ア．原則として郵送に限る。但し、持参や詳細事項の面談の場合は、事前に電話予約が必要。尚、受付終了後「受験票」を郵送します。

イ．学校を通じ申し込むものとする。

４．試験の日時・場所及び内容

【日　時】令和４年１月13日（木）午前９時15分から午後２時15分予定

（受付：午前８時30分～９時00分）

【場　所】阿蘇農業協同組合　一の宮中央支所

【内　容】基礎能力検査（言語･数理･論理･常識･英語）マーク式　適性検査及び小論文　面接試験

５．採用後の待遇　①採用時期　令和４年４月１日（３ヶ月は試用期間として勤務後、職員となります）

②給　　与　高卒基本給…１４６,８８０円 ～

③賞　　与　年２回支給

④昇　　給　年１回

６．その他　受験票、筆記用具（鉛筆等）を持参して下さい。また受験の為の費用は支給しません。

令和４年度　高卒(既卒)・専門学校・短大卒・大卒　ＪＡ阿蘇職員三次募集要領

１．採用職種及び採用予定者数　一般事務職……10名程度　農業関係技術職……５名程度

２．受験資格　昭和56年４月２日以降出生の者で令和４年３月（来春）までに卒業（見込み）の者。

３．受験手続　①提出書類　ア．履歴書（ＪＩＳ規格）…… １通（写真付）

イ．写真（３×４・）…… １枚

（履歴書に貼付した写真と同じものとし、裏面に学校名・住所・氏名を記入）

ウ．学校成績証明書

エ．卒業証明書又は卒業見込証明書

②募集締切日 …… 令和3年12月24日（金）必着

③応募書類提出及び問い合わせ先

【住　所】〒869-2612　熊本県阿蘇市一の宮町宮地３８７番地５

【連絡先】阿蘇農業協同組合 総務部総務人事課（電話）０９６７－２２－６１１１

【担　当】下田・西村

④応募方法　原則として郵送に限る。但し、持参や詳細事項の面談の場合は、事前に電話予約が必要。尚、受付終了後「受験票」を郵送します。

４．試験の日時・場所及び内容

【日　時】令和４年１月13日（木）午前９時15分から午後２時15分予定

（受付：午前８時30分～９時00分）

【場　所】阿蘇農業協同組合　一の宮中央支所

【内　容】基礎能力検査（言語･数理･論理･常識･英語）マーク式　適性検査及び小論文　面接試験

５．採用後の待遇　①採用時期　令和４年４月１日（３ヶ月は試用期間として勤務後、職員となります）

②給　　与　大学卒基本給……１７１,１３０円 ～

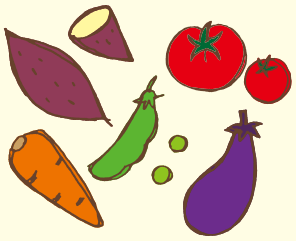
短大・専門卒基本給…１５５,５８０円 ～

高卒基本給……１４６,８８０円 ～

③賞　　与　年２回支給

④昇　　給　年１回

６．その他　受験票、筆記用具（鉛筆等）を持参して下さい。また受験の為の費用は支給しません。



熊本農業の未来をみんなで考えよう

熊本県域ＪＡ構想①

熊本県ＪＡグループでは、環境変化に適時・的確に対応しながら「農家・組合員の多様なニーズに、これまで以上に応えていくため」「ＪＡの組織・経営基盤を将来にわたってより強固なものにするため」に令和２年８月より『熊本県域ＪＡ構想』の協議を進めています。

Q「県域ＪＡ構想」って何のこと?

A 熊本県内すべてのＪＡと、中央会・連合会の合併・機能統合の実現を目指した構想のことです。

Q 熊本の農業・ＪＡグループ・地域社会を取り巻く環境はどのようになっているの?

A 熊本の農業・ＪＡグループ・地域社会を取り巻く環境は、以下の通り、今後さらに厳しさを増していくと思われます。

- ◆担い手の減少・高齢化や大規模化等に伴うニーズの多様化・複雑化
- ◆地域の人口減少・高齢化に伴う市場の縮小・ニーズの変化
- ◆国内・県内農業に不利益な国際貿易交渉の進展
- ◆自然災害の多発化・大規模化や感染症等の長期化
- ◆市場規模の縮小やマイナス金利政策の長期化等に起因するＪＡ経営の悪化
- ◆競合事業体の大規模再編・農業分野への進出等に伴うＪＡの競争環境の変化
- ◆ＩＣＴ・ＡＩの発展等による社会・経済・労働等の革新的構造変化
- ◆人口減少・採用市場激化に伴う労働力・有能人材確保の難化
- ◆規制改革推進会議等によるさらなる規制強化の恐れ

Q どうして「県域ＪＡ」の実現を目指すことになったの?

A こうした激変する環境変化を見通し、今後も、農家・組合員・地域の多様化するニーズに対して十分なサービスを提供し続けるため、また、“全国トップクラスの農業生産県“を支える組織であり続けるための１つの手段として、「県域ＪＡ」の実現を目指した協議を進めています。

Q 全国の県域合併の状況はどのようになっているの?

A 現在、10県域で「県域ＪＡ」が誕生しており、その他15県域で、本県と同じように「県域ＪＡ構想」の協議が行われています。九州では、佐賀県・大分県・沖縄県で「県域ＪＡ」が誕生しており、福岡県・宮崎県・長崎県で県域ＪＡの実現に向けた検討が進められています。

Q「県域ＪＡ構想」をどのような団体・体制で協議しているの?

A 県内で総合事業を展開している14ＪＡと、中央会・経済連・厚生連・共済連・農林中央金庫が「県域ＪＡ構想」の協議に参加しており、各団体の役職員で構成する協議体（協議会・幹事会・検討会）において、現在、協議を進めています。

Q「県域ＪＡ」の設立に向けたスケジュールはどのようになっているの?

A 本年12月に開催する「第27回ＪＡ熊本県大会」において、将来的な「県域ＪＡ」の設立に向けた『熊本県域ＪＡ構想（めざすＪＡ像・規模・体制・時期等）』を提案する予定です。

次回は、「熊本県域ＪＡを目指す目的」についてご紹介します。

ー　農林年金に住所登録されていない方を探しています!　ー

農林年金では、制度完了に向けた取り組みをすすめていますが、住所の登録がないため農林年金からの重要なお知らせなどが、ご本人に届かない場合があります。

公的年金制度が被保険者の住所を収録し始めたのは、平成9年1月の基礎年金番号導入時以降となっており、農林年金でも、個人データベースに組合員の住所を収録したのは平成9年1月以降です。このため、平成8年12月末までに団体を退職された方の住所情報は当初未登録でした。

住所が未登録となっていた方については、これまで日本年金機構との連携による照会・確認のほか、住基ネットシステムの活用、該当者が退職した団体の協力による調査、年金相談等の機会における確認、インターネットや広報誌等での周知等の取り組みを継続して行った結果、多くの住所未登録者の住所が判明しましたが、現在も農林年金のデータ上住所が未登録となっている方がいらっしゃいます。

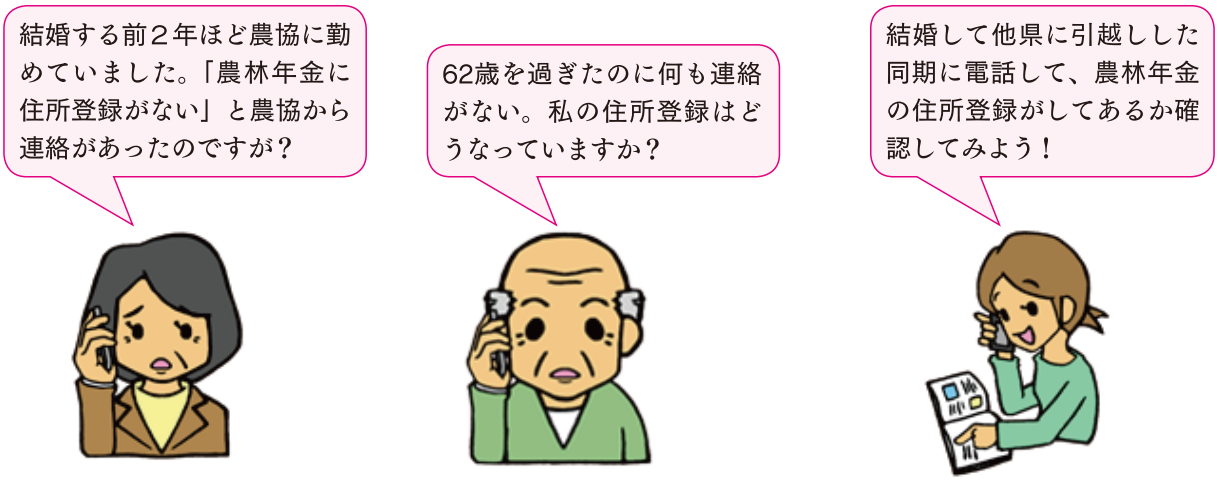
このような方については、このまま農林年金の給付完了時点を迎えると、農林年金から特例一時金を受け取れないまま時効となってしまう可能性がでてきます。すべての対象者の方に特例一時金の支給ができるよう、皆様のお知り合い、関係者の方に広くこの情報をお伝えください。

皆様へご協力のお願い

○　**お知り合いで、年金の支給開始年齢を過ぎているのに、農林年金から何も連絡が届いていない方や、次の事例に当てはまり農林年金に住所が登録されていない可能性のある方がいらっしゃいましたら、農林年金管理徴収課（03−6260−7808）までお電話くださるようお伝えください。**

◆住所が登録されていない可能性がある事例◆

① 平成8年12月以前に団体を退職している。
② 日本年金機構「ねんきん定期便」に農林年金期間が記載されていない。
③ すでに62歳を超えているが農林年金から何の連絡もない。
④ 62歳はまだ先のことだが、①②に当てはまる。



※　お電話いただく際には、農林年金の「組合員番号（10桁）」が書かれた書類などをお手元にご用意いただけると確認がスムースにできます。
（分からない場合は、氏名(旧姓)・生年月日・元所属団体名等でお調べすることとなります。）

がんばろう熊本!!

JAバンク熊本 地域応援キャンペーン2021

©よりぞう

期間 2021年12月1日(水)～2022年2月28日(月)

対象商品 右記のお申込みまたはご契約 ●JAカード ●JAネットバンク ●JAネットローン

※JAカードは、JA窓口でのお申込みに限ります。※JAネットローンは契約いただいた方が対象です。

農協全国商品券 1,000円分 プレゼント!! または 対象施設で3回使える クーポン券 プレゼント!!

期間中に**新規**にお申込みまたはご契約の対象商品1つにつき、JAの直売所等で使える**農協全国商品券1,000円分**または、下記の県内観光農園・直売所等対象施設で**3回使える割引クーポン券**をプレゼント!

※対象商品によっては、農協全国商品券またはクーポン券を選択できない場合があります。

さらに抽選で! 熊本県産農畜産物 プレゼント!!

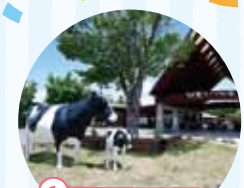
下記期間に対象商品をご契約いただいた方の中から抽選で県下合計**200名様**に**熊本県産農畜産物**をプレゼント!

- ●2021年 7月1日(木)～2021年9月30日(木)
- ●2021年12月1日(水)～2022年2月28日(月)

※抽選日時点で口座残高1,000円以上の方が対象です。

※特典内容の詳細はJA店舗窓口へご確認ください。
※抽選商品はJAにより異なります。

割引クーポン券が使える対象施設


1 らくのうマザーズ 阿蘇ミルク牧場

2 株式会社 JA直売天草 天草とれたて市場 (JAあまくさ・JA本渡五和・JAれいほく)

3 JAあしきた いちごの森

4 株式会社 吉次園

5 阿蘇いちご畑 -木之内農園-

6 JAあしきた ぎゅーぎゅー亭

7 JA熊本うき サンサンうきっ子 宇城彩館

8 じろべえの 観光農園

9 株式会社 杉本本店

10 JAくま 直販センター

11 JAかみましき とれたて市場嘉島店

12 JAかみましき とれたて市場花立店

13 JAかみましき とれたて市場益城店

14 高司農園 花の果樹園

15 JAあしきた ファーマーズマーケット でこぼん

16 JA鹿本 ファーマーズマーケット 夢大地館

17 JA菊池 まんまキッチン

18 you+youくまもと 農畜産物市場

既に当JAで対象商品をご利用いただいているお客さまは、キャンペーンの対象外となります。

●ご契約いただける方は個人の方に限ります。●特典については、やむを得ず中途解約される場合は、特典相当額をご返却いただきます。●2021年7月1日～2021年9月30日、および2021年12月1日～2022年2月28日までにご契約いただいたお客さまに1商品につき1口抽選権を付与いたします。●抽選賞品の抽選時期は2022年3月を予定しております。●抽選日時点で中途解約されている場合は抽選権は無効となります。●当選商品は現金との引換えはできません。●当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。●懸賞品は一時所得となり、確定申告が必要となる場合があります。詳しくは税理士等専門家にご相談ください。

JAバンク熊本

キャンペーンについての詳しい内容は、こちらのQRコードからご確認ください! ▶▶▶
https://kumamoto.jabank.org/

■JA熊本市 096-372-6948 ■JAたまな 0968-72-5504 ■JA鹿本 0968-41-5131 ■JA菊池 0968-23-3504 ■JA阿蘇 0967-22-6128 ■JAかみましき 096-234-1157 ■JA熊本うき 0964-34-3370
■JAやつしろ 0965-35-6075 ■JAあしきた 0966-82-2516 ■JAくま 0966-38-1101 ■JA本渡五和 0969-23-2231 ■JAあまくさ 0969-22-1102 ■JAれいほく 0969-35-0600

お問合せ先

JA阿蘇各支所へどうぞ!

＼始まっています／

みんながトクする

今なら **3,000円 おトクキャンペーン** 実施中！！

JAでんき

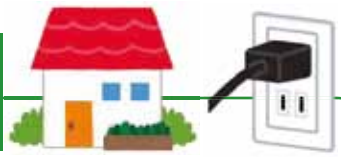
JAでんきとは

組合員のみなさまが日々ご利用されている電気の

料金をお安くするために、ＪＡグループが取り扱う電気メニューです。

切り替え簡単、ＪＡ口座をそのままご利用できます。

おトクな料金メニューをご紹介します。



ＪＡでんき　従量電灯Ｂ、Ｃ（一般家庭向け）

対象：九州電力 従量電灯Ｂ スマートファミリープラン → **ＪＡでんき 従量電灯Ｂ**

対象：九州電力 従量電灯Ｃ → **ＪＡでんき 従量電灯Ｃ**

JAでんき	月額電気料金	7,234 円	9,880 円	12,526 円
	年間お得額	年間 2,400円お得!	年間 5,484円お得!	年間 8,568円お得!

※九州電力 従量電灯BとJAでんき 従量電灯Bの比較です。

※詳しくは料金メニュー別チラシをご確認ください。

お申し込み・ご相談は、JA阿蘇　各購買センターまで！！

洋服の青山
AOYAMA TAILOR
SINCE 1964

この紙面を
必ず店舗にご持参ください。

JA組合員の皆様へ

新規提携開始いたしました!

JA×AOYAMAタイアップカード
ご登録・ご提示で

店内全商品 10%OFF

「JA×AOYAMAタイアップカード」ご登録・ご利用の流れ

入会金・年会費 **無料**

本チラシ及び
本人確認書類をお持ちの上、
お近くの「洋服の青山」へ
ご来店

▶

登録用紙に
記入

▶

カードを即日発行
その日から特典を
ご利用いただけます

※カード発行の際に、キャッシュカードをお預かりしたり暗証番号をお聞きすることは、一切ありません。※詳しくは店頭係員にお尋ねください。※JA×AOYAMA タイアップカードはクレジットカードではありません。

※掲載商品はイメージです。

洋服の青山なら
他社製品でも
下取りいたします!

下取り10%OFF サービス 実施中

メンズスーツ、ワイシャツ、フォーマルはもちろん、
小物類から、レディス衣類・学生服まで
幅広く下取り! ▶ 下取りクーポン券と交換!

さらにタイアップカード割引で
10%OFF!

※詳しくは店頭係員までお問い合わせください。

一例 メンズスーツ 税込¥20,900 ▶ 下取り10%OFFで 税込¥18,810 ▶ 更にタイアップカード割引 10%OFFで 税込¥16,929

Quality Order
SHITATE

オーダースーツ
取り扱い中

詳しくは
ホームページにて
ご確認ください。

T-POINT d POINT AOYAMA ポイント

貯まる!使える!

超お得なポイント活用! 青山でポイ活!

FOR a CUSTOMER
お客様へのお願い。

1 消毒液設置 しておりますので利用促進をお願いいたします。

2 店内でのマスク着用をお願いいたします。

3 出来上がりの商品は配送(有料)も承りますのでお申し付けください。

ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

洋服の青山からのお知らせ!
店舗検索・ビジネスウェア
ガイドはこちらから ▶

ご来店確認用バーコード
4029200055425

チラシ有効期限:2022年3月31日(木)まで

※本チラシ掲載内容は、2021年11月時点の内容です。セール内容及び割引内容などが変更になる場合がございます。洋服の青山アウトレット店舗は対象外となります。ご了承ください。※詳しくは店頭係員までお問い合わせください。

JA阿蘇

JAグリーン一の宮:1272／産山購買店舗:12722／波野購買店舗:12723／高森購買店舗:12724／
蘇陽購買店舗:12725／JAグリーンなんごう:12726／西原購買店舗:12727／
グリーンショップやまびこ:12728／小国郷中央購買店舗:12729

【店舗スタッフへ:お客様に支店・地区を確認し、顧客登録(コード登録)をお願いします。】
お支払いは店頭決済のみとなります。(現金またはクレジットカード)

ＪＡ阿蘇

合併20周年記念定期貯金

はたちのキャンペーン

©よりぞう

おかげさまでＪＡ阿蘇は
20周年を迎えました

期間　2021年12月1日（水）～2022年1月31日（月）

対象：定期貯金30万円以上（期間1年以上　新規契約）

先着**300**名様に

よりぞうレジかご用トートバック

プレゼント！！

ＪＡネットバンクで
お預けいただくと
総合口座開設の方が対象となります

300万円未満　店頭金利　年0.005%上乗せ
300万円以上　店頭金利　年0.01%上乗せ

上記はキャンペーン期間外でもご利用いただけます
詳しくはＪＡ窓口でご確認ください

既に当ＪＡにお預入れいただいている定期貯金解約後の新規ご契約は、キャンペーンの対象外となります。
ご契約いただける方は個人の方に限ります。中途解約された場合は、解約時の当ＪＡ所定の中途解約利率を適用させていただきます。利息には復興特別所得税を付加した20.315%の税金がかかります。
本商品は貯金保険の対象です。同保険の範囲内で保護されます。詳細はお近くのＪＡ窓口でご確認ください。

☆お問合せ先☆

一の宮中央支所	0967-22-1321	阿蘇南中央支所	0967-62-9131	西原支所	096-279-3222
蘇陽支所	0967-83-1135	高森支所	0967-62-0521	阿蘇町中央支所	0967-32-4411
小国郷中央支所	0967-46-3211	本所	0967-22-6111		